

令和3年度

地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省）

# 地球温暖化防止活動を行う民間団体等 の活動実態調査報告書

令和4年2月

一般社団法人 環境創造研究センター



# 目 次

調査の実施概要	1
【ヒアリング対象団体①】特定非営利法人環境改善推進機構	2
【ヒアリング対象団体②】大府市地域婦人団体連絡協議会	10



# 調査の実施概要

## (1) 調査の目的

本調査は、環境省の「地域における地球温暖化防止活動促進事業」の一環として、愛知県において、地球温暖化対策関連の活動に取り組む民間団体等（企業除く）の活動内容、活動状況について把握することを目的に実施した。

調査結果については、今回の調査団体の活動が広く認知されるようウェブサイト等での公開・紹介を行い、関係機関等への情報提供も実施する。

## (2) 調査実施概要

調査実施主体	愛知県地球温暖化防止活動推進センター (一般社団法人環境創造研究センター)	
調査対象	県内で活動する民間団体 2団体 ① 特定非営利法人 環境改善推進機構 ② 大府市地域婦人団体連絡協議会	
調査方法	調査方法	・各団体のリーダー等の活動の中心人物に対して1時間程度のヒアリングによる調査を行った。 ・調査後、とりまとめた内容について各ヒアリング対象者に確認を依頼した。
	調査時期	① 特定非営利法人 環境改善推進機構：令和2年11月8日（月） ② 大府市地域婦人団体連絡協議会：令和2年12月10日（金）

## (3) 調査項目

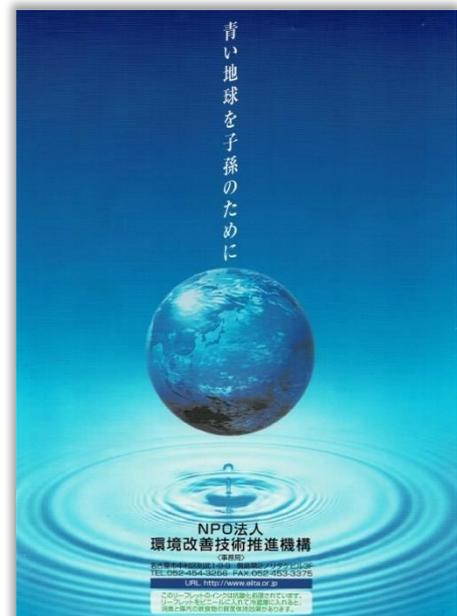
<ul style="list-style-type: none"><li>●設立の目的、経緯</li><li>●構成員等の人数、構成</li><li>●活動の詳細（内容、活動頻度など）</li><li>●活動による効果・影響</li><li>●活動上の課題</li><li>●行政・企業・ほかのNPO等民間団体との連携状況・連携の可能性と課題</li><li>●行政・企業、愛知県センター等に期待すること など</li></ul>
--

## 【ヒアリング対象団体①】特定非営利法人環境改善推進機構

団体の概要・ 設立目的等	<p>特定非営利法人環境改善推進機構（設立時は「NPO 法人環境改善技術推進機構」）は、地球環境の改善、CO<sub>2</sub>の削減など、社会・企業を取り巻く状況、理想と実態を鑑み、環境に関わる技術、情報、製品を社会・企業の間で普及せしめることにより、環境をより改善し、また、環境に配慮した社会づくりに貢献したいという意思を持つ者が集まり設立された。</p> <p>「青い地球を子孫のために」を合言葉に、創エネルギー、未利用資源の有効利用を目的とする装置、省エネルギー、安心・安全分野に関わる事業の計画、提案、実行指導を行っている。</p>
設 立	2009（平成 21）年 4 月 1 日
構成団体	約 40 社
主な活動内容	<p>（活動領域）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 環境の保全を図る活動</li> <li>② 環境に関する国際協力の活動</li> <li>③ 環境に寄与する経済活動の活性化を図る活動</li> <li>④ 環境問題を解決する職業能力の開発、または雇用機会の拡充を支援する活動</li> <li>⑤ 上記の諸活動を行う団体と連携、または活動に関する連絡・助言・援助の活動（事業）</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本 NPO が認定する技術、本 NPO が認定する製品の普及事業</li> <li>② 環境シンポジウム、講演会の開催</li> <li>③ 認定技術、認定製品の寄贈</li> <li>④ 環境に関する展示会、イベントへの参加または共催</li> <li>⑤ 環境改善に関する研究発表（事例紹介）</li> <li>⑥ 機関誌の発刊</li> <li>⑦ その他関連する団体との交流（支援・助言）</li> <li>⑧ 環境に関する法律、条令等の解説、指導</li> <li>⑨ 諸官庁の環境に関する情報の収集と報告</li> <li>⑩ 環境問題を解決する収益事業の運営</li> </ol>
主な活動場 所、連絡先	<p>事務局：名古屋市中村区下米野町 3 丁目 27 番地          TEL：052-451-9611 FAX：052-451-9611  <a href="https://www.kankyokaizen.jp/">https://www.kankyokaizen.jp/</a></p>

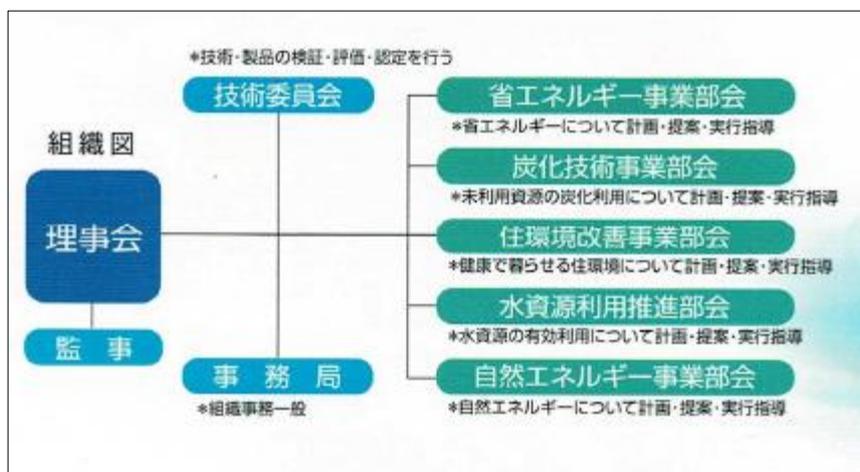
### （設立の経緯と目的）

- 現専務理事である伊藤光一氏が、よりよい地球環境を子孫まで残したいという思いのもと、環境により技術、商品を広く普及させていくため、2009 年に「青い地球を子孫のために」を合言葉に初代理事長である山崎嘉郎氏らとともに立ち上げた。
- 生ごみ処理機（処理槽）の販売を行っていた伊藤氏は、食品リサイクル法（「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」（平成 13 年施行））ができた後も、その取り組みがなかなか普及、定着しないという状況等を鑑み、環境によりとされる技術や製品を普及させるために



は、個人としてではなく、法人として取り組んだ方がよいのではないかと考え機構の設立に至った。

- 設立当初は、「特定非営利法人環境改善技術推進機構」という名称であり、活動内容として、企業活動の分野での環境改善に焦点を絞り、様々な問題に有効な解決技術について、情報の収集、発信、技術の実証、導入への支援活動を進めることとしていた。
- 会員企業は、設立時（2009年4月）には約60社であったが、同年の10月時点で95社を数え、不動産業、電気工事、電子部品製造、炭化装置製造業、環境機器販売、水道事業、包装資材販売、建設資材販売、廃棄物処理業、会計士、燃料・車販売、広告代理店、環境コンサルタント業、製缶業、呉服、食品販売、特殊塗装販売、雨水利用、屋上緑化、堆肥製造業、印刷業、ガラスビン回収業など、多様な業種から参加を得ている。
- 設立当初は、①省エネルギー事業部会、②温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）対策部会、③有機廃棄物減量事業部会、④炭化技術事業部会、⑤住環境改善事業部会、⑥バイオマスエネルギー事業部会、⑦水資源利用推進部会、⑧緑化推進事業部会、⑨河川・湖沼浄化事業部会、⑩自然エネルギー事業部会、⑪産官学連携推進部会という11の部会があり、それぞれ計画、提案、実行指導を行うこととしていた。
- 現在、会員企業は約40社となっており、①省エネルギー事業部会、②炭化技術事業部会、③住環境改善事業部会、④水資源利用推進部会、⑤自然エネルギー事業部会の5つの部会を設けている。





● CO<sub>2</sub>削減ドラム缶 1 万本運動

「CO<sub>2</sub>削減ドラム缶 1 万本運動」は、地球のあちこちであらゆる異常事態（異常気象により世界の各地で起こる大規模な自然災害）が発生するなかで、私たち一人一人が小さな省エネ行動や環境負荷の削減行動に取り組み、二酸化炭素を体積換算で、ドラム缶 10,000 本（2,000,000 ℓ）分を積み重ねようという運動である。

省エネを無理強いするのではなく、一人一人の日常の生活や経済活動において行動してもらい、それを申請用紙に記入し提出してもらおうというもので、これまでに 21 団体の参加申請があり、目標を大きく上回る、ドラム缶 38,945,303 本の CO<sub>2</sub>の削減につながっている。



“CO<sub>2</sub>削減ドラム缶1万本運動”【行動例】

行動例	事例・条件等	削減量(年間)		金額換算(年間)
		ドラム缶換算	原油換算	
蛍光灯をLEDに	直管式40形(1本)	0.13 缶	25.4 ㏄	¥1,485
	直管式20形(1本)	0.06 缶	11.5 ㏄	¥675
エアコンを省エネ化	5馬力▼15%	3.34 缶	667.8 ㏄	¥38,981
サーキュレーター利用で	5馬力▼19%	2.12 缶	423 ㏄	¥24,688
ポンプ・ファン省エネ化	11kw▼30%	29.72 缶	5943.5 ㏄	¥346,896
蛇口を節水する(60分/日利用)	▼33%	0.1 缶	20 ㏄	¥5,957
シャワーを節水(10人/日利用)	▼33%	0.32 缶	64 ㏄	¥7,776
ガラスを遮熱化する	76m <sup>2</sup> 遮外縁カット90%	0.53 缶	105 ㏄	¥6,150
再生可能エネルギーを使用	782kwhの電力を利用	1 缶	200 ㏄	¥11,673

“CO<sub>2</sub>削減ドラム缶1万本運動”【参加申請書】

【電機関係】

① 照明

数量	消費電力( → )	点灯(稼働)時間約	時間/年
----	-----------	-----------	------

② 空調

数量	消費電力( → )	点灯(稼働)時間約	時間/年
----	-----------	-----------	------

③

④

⑤

⑥

私はCO<sub>2</sub>削減ドラム缶1万本運動に、上記活動を申請し参加します。

年 月 日

【申請者】

法人名	業種	
住所		
TEL	FAX	E-mail
担当 部署	役職	氏名

上記ご記入のうえ、下記に送信願います。

FAX 052-451-9611 E-mail lupin@leaf.ocn.ne.jp

特定非営利活動法人 環境改善推進機構  
名古屋市中村区下米野町3丁目27番地  
FAX (052) 451-9611  
http://www.kankyoukaizen.jp  
E-mail lupin@leaf.ocn.ne.jp

“CO<sub>2</sub>削減ドラム缶1万本運動”

「皆様のご参加をお待ちしております!!」

<地球温暖化防止・CO<sub>2</sub>削減の意義必要性>

あなたは、直視できますか？地球のこの姿を！（今、地球で起きている事実）

2006年公開のアル・ゴア元アメリカ合衆国副大統領出演の「不都合な真実」で指摘されていた地球温暖化による環境破壊が近い未来の話ではなく、目の前に現れたリアルな問題として認識せざるを得ない状況となってきました。

昨今の人的とも言える夏の猛暑に冬の厳寒現象、気候変動による巨大台風の暴出、今までにない大雨、ハリケーン、海面上昇、動植物の生態系の変化等と差し迫った危機が既に日常でも連日目にするようになってきました。

このまま静観(?)しているだけで良いのでしょうか？何か出来ることはないのでしょうか？

我々、企業や個人は日々大なり小なりのエネルギー資源を消費しながら活動していますが、なんらかの省エネ活動をすることで、状況は改善できます。初めは小さな活動・効果ですが、広がりとともに大きな活動・効果に変わること可能です。我々以外にも世界中で危機意識を持ち、様々な省エネ活動が行われています、どのような形であれ、このような活動が増えれば地球環境保全にとって大きな流れにすることも可能です。

また、多くの新たな次世代エネルギーの開発・研究も行われています。しかし、実用化にはまだまだ時間が必要です。その間だけでも、出来るだけ今より環境を悪化させない、時間稼ぎの為に我々一人一人の省エネ活動が必要なのです。

“CO<sub>2</sub>削減ドラム缶1万本運動”とは、私たちの小さな省エネ行動や、環境負荷の削減行動を通して、二酸化炭素の体積換算で、ドラム缶10,000本(2,000,000ℓ)分を積み重ねようという運動です。省エネを無理強いするものではありません、皆さんの日常生活や、経済活動において行動した事柄を申請用紙にて申請してください。

STOP 地球温暖化

特定非営利活動法人 環境改善推進機構

「CO<sub>2</sub>削減ドラム缶 1 万本運動参加申請書」に記入し、提出してもらっている。

● CO<sub>2</sub>削減植林運動

近年、多発している地球温暖化による異常気象やそれに伴う土砂災害は、スギ、ヒノキなどの針葉樹を植林したことや土地開発で森林伐採が進んだこともその一因であると捉え、その解決策のひとつとして、CO<sub>2</sub>を吸収する森林を育てるための植林運動を行うこととした。

また、環境に関わる講演会等のイベントは一過性のものになりがちであり、対象も限定されてしまうことから、もっと広く一般市民に CO<sub>2</sub> 削減に取り組んでもらうための取り組みとして植林運動を行うこととした。

そして、環境に関わる各種イベントに出展した際に、プラスチックのポットとスーパーポローニア（早期桐）※の種と育て方の説明書を渡している。（スーパーポローニア(早期桐)は成長が早く4年から6年で成木となり、伐採後も繰り返し成長する。また、そのCO<sub>2</sub>の吸収量は、スギの木の10倍以上とされている）

CO<sub>2</sub>削減植林運動は、スーパーポローニアの種を脱脂綿を敷いた小皿の上にのせ、水を十分に与えると2週間程度で発芽するので、発芽したら土を入れたポット（配布されたもの）に植えて苗木（15cm くらい）まで育て、苗木になったら路地に植え替えてもらうという取り組みであるが、当機構において、今後、植樹会の開催も計画している。



スーパーポローニアの種とポット、育て方が書かれたカードを配布している。



- **SDGs AICHI EXPO 2021 への出展**

令和3年10月22日、23日の両日に、愛知県国際展示場（常滑市・中部国際空港に隣接）で開催された、日本最大級のSDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO 2021」に出展し、機構の取組みについて紹介するとともに、スーパーポロニアの種を配布し、CO<sub>2</sub>削減植林運動への参加の呼びかけを行った。



- **メッセナゴヤへの出展**

毎年11月に名古屋市国際展示場（名古屋市港区）で開催されている、日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ」に出展し、企業の省エネについて提言している。



- **びわ湖環境ビジネスメッセへの出展**

1998年から毎年秋に滋賀県で開催されている、滋賀県や地元自治体、経済団体等が主催する環境産業総合見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ」に出展している。（びわ湖環境ビジネスメッセは2020年から休止中）



- **活性炭を利用した浄水器づくり体験教室の開催（いちのみやリバーサイドフェスティバル）**

毎年5月のG.W.に国営木曽三川公園 138 タワーパーク（一宮市）にて開催されている「いちのみやリバーサイドフェスティバル」に参加し、ペットボトルを使った、活性炭を利用した浄水器づくりの体験教室を開催した。



- **環境デーなごやへの出展**

市民・事業者・行政の協働のもと、よりよい環境づくりに向けて具体的な行動を実践する契機とする行事として 2000 年から毎年 9 月に行われている「環境デーなごや」に出展している。

- **犬山市への光触媒消菌マスクの寄付**

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大するなか、光触媒消菌マスクを犬山市に寄付した。光触媒消菌マスクは不織布マスクに光触媒を塗布したマスクで、スーパーオキシド、ヒドロキシラジカルの働きで有機物を除去し、光を当てることで表面を清潔に保つことができる。一般の不織布マスクとは異なり、使い捨てではなく洗濯して再利用することが可能であり、CO<sub>2</sub> の削減や環境保全に貢献し得るものである。



## ● 環境セミナー・研修会等の開催

年 1 回の総会や理事会、新年会等の集まりのほか、会員やその他の環境に関心のある方を対象とした研修会やセミナーを開催している。2020 年には、理念経営協会の窪田先生（演題：令和時代を勝ち抜く経営論「SDGs 理念経営」）、愛知県資源循環推進センターの藤沢先生（演題：理念経営による SDGs 実践事例「企業における SDGs の取り組み方」）をお招きし、環境セミナーを開催し、参加者から好評を得た。



（今後の課題）

- 参加企業それぞれの企業経営との両立の難しさから、参加企業は一時 100 社を数えたが、出入りをしながら現在は 40 社程度にとどまっている。
- 現在の一番の課題は活動のための資金の確保である。
- 真剣に取り組んでくれる人材の確保も課題となっている。

（行政、企業、民間団体等に期待すること）

- 環境保全を進めるためには、例えば、ペットボトル入り飲料の販売時に料金を上乗せし、空き容器を販売店に持っていくと返金されるようなシステムを導入するなど、思い切った取り組みを導入していくべきではないか。
- 炭化装置など環境によい製品であっても、法律の枠組みに当てはまらないがために評価されにくい製品、技術があるため、既成概念にとらわれない対応をしてほしい。

## 【ヒアリング対象団体②】大府市地域婦人団体連絡協議会

団体の概要・ 設立目的等	<p>大府市地域婦人団体連絡協議会は、全国組織である「全国地域婦人団体連絡協議会」の地方組織である。全国地域婦人団体連絡協議会は、戦後、地域の婦人会組織をつなぐようなかたちで、1952（昭和 27）年に結成されており、大府市地域婦人団体連絡協議会は、昭和 46 年、大府市の市制施行の翌年に設立されている。</p> <p>大府市地域婦人団体連絡協議会は、地域婦人団体の連絡協議機関として、男女共同参画の推進、青少年の健全育成、家庭生活並びに社会生活の刷新、高齢化社会への対応、地域社会の福祉増進、世界平和の確立などの実現に努めることを目的としている。</p>
設 立	1971 年 7 月
構 成 員	大府市地域婦人団体連絡協議会は、令和 3 年 12 月現在、単位婦人会として、大府婦人会、神田女性の会、共長婦人会、吉田婦人会の 4 つの組織を有しており、大府市民（女性）188 名が所属している。
主な事業内容	<p>&lt;事業内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域婦人団体相互の連絡提携並びに情報交換</li> <li>・ 地域婦人団体に関する指導者養成</li> <li>・ 地域婦人団体に関する調査研究、資料作成配布</li> <li>・ 婦人の福祉増進に関する施策の推進</li> <li>・ その他、本会の目的達成に必要な事業</li> </ul> <p>&lt;主な事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 婦人大学講座</li> <li>・ 赤十字奉仕団活動</li> <li>・ アスパ製作</li> <li>・ 愛厚ホーム大府苑ボランティア</li> <li>・ 菜の花クラブ</li> <li>・ その他</li> </ul> <p>また、毎年、環境問題、高齢化問題、地域活動等に関して、テーマを掲げて活動を展開している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度：「環境保全を考えるクリーンアップ・ザ・ワールド in 大府に参加して」</li> <li>・ 令和 2 年度：「SDGs を考えよう～食品ロス削減を通して～」</li> <li>・ 令和 3 年度：「SDGs をここから未来へーゼロカーボンシティ実現へ向けての協働ー」</li> </ul>
主な活動場 所、連絡先	<p>事務局：大府市中央町五丁目 70（〒474-8701） 大府市役所健康未来部子ども未来課 TEL：0562-85-3320 FAX：0562-47-7320 大府市地域婦人団体連絡協議会 obucity.fujinkai@yahoo.com</p>

### （設立の目的と経緯）

- 大府市地域婦人団体連絡協議会(以下、大府市地婦連という)は、全国組織である「全国地域婦人団体連絡協議会」の地方組織で、昭和 46 年の大府市制施行の翌年に設立されている。
- 大府市地婦連は、地域婦人団体の連絡協議機関として、男女共同参画の推進、青少年の健全育成、家庭生活並びに社会生活の刷新、高齢化社会への対応、地域社会の福祉増進、世界平和の確立などの実現に努めることを目的とし、市内における各地域婦人団体相互の連絡提携を密にし、地域婦人団体の育成、指導を図り、婦人の地位向上と地域社会に寄与する取り組みを行っている。

(主な活動)

● 婦人大学講座

大府市地婦連の単位婦人会である大府婦人会、神田女性の会、共長婦人会、吉田婦人会の4団体が、それぞれにテーマを掲げて毎年5月～11月に10回の講座（講演や研修、地域行事など）を企画している。そして、翌年2月に開催する閉講式で活動発表を行い、学んだ内容を共有している。最近は、環境問題を多く取り上げるようになっており、「アスパで野菜づくり」、「ヘチマたわし作り」、「みつろうエコラップ作り」、「フジバカマを育ててSDGsを考えよう」、「フードバンクについて学ぼう」、「SDGsさいころ作り」など、SDGsを指針とした講座も行っている。



SDGs さいころ作り



アスパで野菜作り



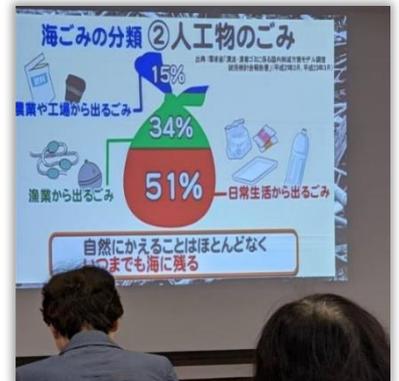
ヘチマたわし作り



廃油石けん



リユース開催



環境講座



ごみ分別講座



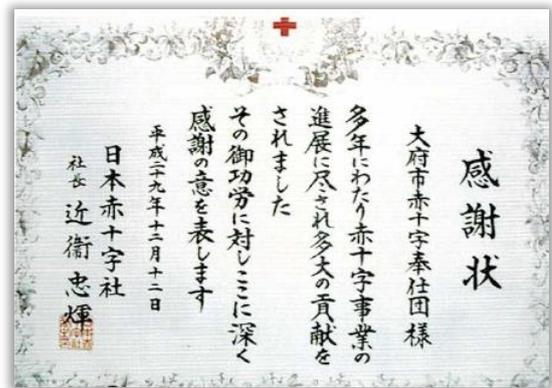
理事研修エコフルタウン

● 赤十字奉仕団活動

日本赤十字社愛知県支部の大府市赤十字奉仕団として、地域の防災訓練や各種イベントに参加し、普及活動や炊き出しのほか、市内法人の社資募集活動や NHK 海外助け合い募金活動を行っている。

平成 29 年度から令和元年度までの 3 年間は愛知県支部のモデル奉仕団に選出され、健康生活支援指導員 3 名、幼児安全法指導員 3 名を中心に、避難所での生活支援や幼児安全法等の普及に関する積極的な活動を行った。

平成 29 年度には、日本赤十字社より功労感謝状を受けている。



非常食作り啓発



幼児安全法指導



愛厚ホーム防災訓練の炊き出し作業



防災ラリーで生活支援ホットタオル作り

- **アスパ製作**

アスパとは、発酵合成型有機肥料のことであり、米ぬか、もみ殻、糖蜜などに EM（有効微生物群）を混ぜ合わせ発酵乾燥させたものである。生ごみにアスパを振りかけると、EM によってごみを腐敗させずに発酵させることができ、嫌な臭いやハエなどが発生することなく約 3 週間で有機肥料に変わり、庭木や菜園の肥料として利用できる（アスパとは、アンスメル・パワーの略で、臭いを消す力を意味する）。

大府市地婦連では、大府市環境課の委託のもと、福祉施設あけび苑や憩いの郷にも依頼しながら毎月アスパづくりに取り組んでいる。完成したアスパは市役所や公民館で市民に無料配布しているほか、消費者フェアや各種イベントで配布するなど啓発活動も行っている。アスパの使用は、ごみの減量を可能とし、CO<sub>2</sub> の削減、地球温暖化防止につながる取り組みであり、誰もが今すぐに行える SDGs であることから、大府市との協力のもと、継続的に製作、無料配布を行うとともに、チラシを作成し啓発活動を行っている。



アスパ製作の様子



アスパ製作の様子



アスパ啓発（公民館まつり）



アスパ啓発（コラビア交流会）

**野菜は最後まで利用しています**  
野菜のへたなどの捨てる部分は煮出してスープを取り、みそ汁や煮物のだしに使っています

**2021年からゴミ袋の仕様がわるよね**  
金額も高くなるからゴミを減らさなくちゃ

**賞味期限が近くても...**  
すぐ使うものならそちらから買います。お財布にも環境にも優しいです。

**地産地消のものを食べています**  
地元で採れた旬のものを食べると美味しくCO2の削減にもなります

**外食の時はご飯は少なめにとおねがいします**  
もちろん！残さず食べますよ。残したら持ち帰れるといいね

**生ごみは肥料にしています**  
私たちが作ってるアスパや段ボールコンポストを利用しています

**冷蔵庫を見える化しています**  
計画的に消費できる環境を整えています



大府市地域婦人団体連絡協議会  
SDGsをかなへるからかみへ

**わたしも、あなたも、  
今すぐできる！  
台所から SDGs**

**アスパ**

**アスパを使った生ごみ減量**

**生ごみを土に返し、たい肥にする循環生活**

アスパは公民館等で無料配布しています。



アスパとは、発酵合成型有機肥料のことです。米ぬか、もみ殻、糠などにもEM（有効微生物群）を混ぜ合わせ、発酵乾燥させたものです。生ごみにアスパを振りかけると、EMがごみを腐敗させずに発酵させるため、いやな臭いがなくなり、ハエなどの発生も防ぐことができます。約10日間ほどで有機肥料に変わり、庭木や菜園の肥料として利用できます。  
※アスパ・・・アンスメル、パワーの略。臭いを消す力の意味。

**SDGs わたしたちから未来へ**

**大府市地域婦人団体連絡協議会**

（事務局）大府市役所健康未来部 子ども未来課  
（お問い合わせ）大府市地域婦人団体連絡協議会  
e-mail [obucity.fujinkai@yahoo.com](mailto:obucity.fujinkai@yahoo.com)  
Instagramで私たちの活動を紹介しています

私たちの活動はすべてがSDGsにつながっています。これからも学習と持続可能な活動を展開していきます。

**アスパで「生ごみたい肥」を作ろう**

**密閉容器で**

(1) 水を切った生ごみを密閉容器・プランター・地面に入れる。

(2) アスパを大きじ、2杯（10～20グラム）を均一に振りかける。  
（生ごみ1キログラムあたり10グラムくらいが目安）

(3) 密閉容器はフタをしっかり閉める。プランターや地面は土をかぶせる。  
※フタがふくれる場合はガス抜き

(4) 容器が一杯になるまで、生ごみ、アスパを交互に入れる。

(5) 容器が一杯になったら、直射日光の当たらない場所で約10日間程度保管する。 ※これで、発酵堆肥（まだ形はありますが良質の肥料）のできあがりです。肥料として使ってください。

**プランターで**

**地面に穴を掘って**

**コンポスト容器で**



**「生ごみたい肥」の使い方**

できたばかりの肥料は酸性が強いから、作物や根に直接触れないように離して埋めるというよ

**畑に**  
畝と畝の間に穴を掘ってその中に埋め、その上に7～8cm程度の土を振りかけます。

**プランターに**  
土+有機肥料+土の層に3分の1ずつサンドイッチ状にして埋め、10日間放置してから種や苗を植えます。

**畑や庭**  
出来上がった「生ごみ堆肥」を、畑の畝間に入れ、その上に土を盛ります。このとき、「生ごみ堆肥」を1カ所に固めて入れると、土とよく混ぜ合わさって入れます。  
植木などに使用する場合は、深さ20～30cmほどの穴を掘って埋めます。このとき、「生ごみ堆肥」は、単独では酸性が強いため、作物や植物の根に直接触れないようにしましょう。  
（畑に入れてから、土が酸性化する心配はありません。）

**プランター**  
プランターで「生ごみ堆肥」を使用する場合は、まず最下層に鹿沼土（または赤玉土）を入れてから、その上に腐葉土を入れます。  
中層に「生ごみ堆肥」を入れて、上から土をかぶせ、良く混ぜます。  
約10日から1ヵ月後、タネや苗などを植えてください。「生ごみ堆肥」は、約1ヵ月ほどで土に戻ります。「生ごみ堆肥」を繰り返し土に入れていると、コロコロした黒く良質な土になります。ときおり、ミミズなどが発生することがありますが、これは良い土に生まれ変わった証拠です。

「生ごみたい肥」の作り方や使い方を もっと詳しく知りたい方 講習会を開催します。  
お気軽にお問い合わせください  
[obucity.fujinkai@yahoo.com](mailto:obucity.fujinkai@yahoo.com)

このチラシの内容は大府市HP等を参考にしました



アスパ啓発と使用方法をまとめたチラシ

## ● 愛厚ホーム大府苑ボランティア

特別養護老人ホームの愛厚ホーム大府苑で、隔週水曜日にボランティアとしてベッドシートやまくらカバー交換を行い、入居者との交流を深めている。また、施設の夏祭りや防災訓練にも参加している。

## ● 菜の花クラブ

菜の花クラブの活動は、2005年に愛知県で開催された「愛・地球博」の「菜の花プロジェクト」を引き継ぐかたちで、その翌年から資源循環型社会の実現と環境保全をテーマに行っている取り組みである。菜の花クラブでは、菜の花の種まきから刈取りまでを行い、種から搾油体験をしたり、廃油から石鹸を作ったりするなど、一連の環境体験学習として共長小学校児童を対象として実施している。

菜の花クラブは、「あいちモリコロ基金」の補助を受けて設立されたものであり、平成30年に基金は解散となっているが、「愛・地球博」の理念を継承し、現在も活動を続けている。そして、平成28年度には「愛知県環境保全官営功労者表彰」を、令和元年度には「環境大臣地域環境美化功績者表彰」を受賞している。



菜種搾油



廃油石鹸作り

## ● その他の活動

- ・ 5円玉・1円玉募金：障がい者施設へ寄付
- ・ 書き損じはがき：中部盲導犬協会へ寄付
- ・ 古切手回収：社会福祉法人中部善意銀行へ寄付
- ・ ペットボトルキャップ回収：愛キャップ委員会へ寄付

● **ゼロカーボンシティ実現へ向けての協働（令和3年度の主な取り組み）**

大府市は、2021年1月にゼロカーボンシティを表明している。また、大府市の環境基本計画では、「一人ひとりが自分のこととして環境を意識し、学び、気づき、そして行動する」を基本理念として掲げている。そこで、大府市地婦連では、これと連携した取り組みとして、講座を企画し、現在の地球環境やゼロカーボンシティ、大府市の取り組み、身近にできる取り組み内容などについて学ぶとともに、SDGsの開発目標13「気候変動に具体的な対策を」につながる、CO<sub>2</sub>排出量削減のための取り組みとして、長年作り続けている発酵成型型有機肥料であるアスパを使った「生ごみ減量化」の中心に啓発活動を行った。

＜実施内容＞

- ① 地域に密着した環境づくりに関心のある市民団体・地域コミュニティ・事業者などで構成されている「環境パートナーシップ会議」に「アスパを使った生ごみ減量化」の啓発を掲げて参加
- ② 「アスパを使った生ごみ減量化」のチラシと展示ポスターと、SDGsの啓発として「エシカル消費」のチラシを作成

**知っていますか？エシカル消費**

「エシカル」とは倫理的・道徳的という意味。  
「安くてもいいモノ」や「自分にとってどれくらい得か」といった基準で選ぶのではなく、より広い視野で、「人や社会、環境などに優しいモノ」を購入する消費行動やライフスタイルのことです。

**わたしも、あなたも、今すぐできる！**  
**SDGs お買い物で社会貢献**

**エシカル消費は地域社会、自然環境などを思いやる「思いやり消費」「応援消費」です**

- 環境にやさしい消費**
  - エコ商品やリサイクル商品の購入
  - 買い物でのエコバック持参
  - 省エネ家電を使う
  - プラスチックゴミの削減
- 人や社会にやさしい消費**
  - 福祉施設で作られた商品の購入
  - フェアトレード商品の購入
  - 寄付金付き商品の購入
  - エシカルファッションを選び長く使う
- 地域にやさしい消費**
  - 地産地消・国産の商品を購入
  - 地元商店での買い物
  - 被災地産品の購入

環境への負荷が  
少ない商品の購入

みんなが暮らしやすい  
社会に役立つ商品の購入

地域の活性化に  
つながる商品の購入

**大府市地域婦人団体連絡協議会**

（事務局）  
大府市役所健康未来部 子ども未来課

（お問い合わせ）  
大府市地域婦人団体連絡協議会  
e-mail obucity.fujinkai@yahoo.com

Instagram インスタグラムで私たちの活動を紹介しています

**SDGs わたしたちから未来へ**

私たちの活動はすべてがSDGsにつながっています。これからは学習と持続可能な活動を展開していきます。

認証マークは裏面にあります

**認証マークをお買い物の参考にしよう**  
認証マークはエシカル消費につながる「よくできたもの」に与えられます。

<b>国際フェアトレード認証</b> FAIRTRADE 生産者への適正な価格の支払、労働環境の改善、農産物使用規制の国際フェアトレード基準をクリアした製品の認証。バナナ、コーヒー、チョコレートなど。	<b>FSC認証</b> FSC 森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にのっとり、経済的に持続可能な形で生産された木材に由来する製品の認証。木材、紙類、家具など。	<b>有機JASマーク</b> JAS 農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然界の力で生産された農産物、加工食品、原料および畜産物に由来する製品の認証。バナナ、豆、野菜、たまごなど。	<b>MSC認証</b> MSC 水産資源と環境に配慮し、適切に管理された、持続可能な漁業で獲られた天然の水産物を示すマーク。冷凍サーモイド、魚の缶詰など。
<b>RSPO認証</b> RSPO 熱帯林の保全、生態系の多様性、人々の暮らしに深刻な悪影響を及ぼさない適切な農産物の生産を促す。パーム油、ココア、ココナツ、パナナなど。	<b>有機コットン・リサイクル認証</b> GOTS 森林や生態系の保護、土壌や水資源の保全、労働環境の向上など、基準を満たした農産物由来の原料に由来する製品の認証。パナナ、バナナ、ココアなど。	<b>オーガニック認証</b> GOTS オーガニックのコットン、ワール、麻、綿などの原料から環境的・社会的に配慮した方法で作られた繊維製品に由来する製品の認証。パナナ、バナナ、ココアなど。	<b>エコマーク</b> エコマーク 「生産」から「消費」にわたるライフサイクル全体を通して、環境にやさしい商品に由来する製品の認証。パナナ、バナナ、ココアなど。
<b>バイオスマーク</b> バイオスマーク 生物由来の資源（バイオマス）を利活用し、品質及び開通法、基準、規格等に適合している環境商品に付与されるマークです。	<b>JGAP認証</b> JGAP 「Good (良い) Agricultural (農業) を Practice (実践 (せん)) する」の略。食料安全、環境保全、労働安全等に取組みていること、第三者が認証した農場に与えられる。	<b>再生紙使用マーク</b> FSC 印刷物など再生紙を使用している商品に付与される。古紙パルプ配合率を示すマーク。数字は古紙パルプの割合を示している。コピー用紙など。	<b>グリーンマーク</b> グリーンマーク 原料として古紙を40%以上利用して作られた商品に付与される。（ただし、トイレットペーパー、お風呂用紙については100%、新聞用紙、コピー用紙については90%以上）

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

エシカル消費とSDGs エシカル消費は、SDGsの17の目標のうち、12「つくる責任と消費責任」を軸とし、主に11「持続可能な消費と生産」、13「気候変動への対応」、14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」、16「平和と公正をすべての人に」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」などの目標達成に貢献する取組です。

エシカル消費を通して、社会貢献の第一歩を踏み出し、社会で起こっている問題について一緒に考えましょう。

このチラシのデータは消費者庁のホームページを参考に作成しました。

「エシカル消費」啓発チラシ

- ③ 9月～10月開催の各地区公民館まつりに資料展示・アスパチラシの配布と説明・アスパの無料配布を行うことをもって「アスパを使った生ごみ減量化」を啓発
- ④ クリーンアップ・ザ・ワールド in 大府への参加（イベント中止）
- ⑤ 10月23日開催のコラビア交流会（個人・自治会・コミュニティ・企業・行政・市民の登録団体がお互いの活動内容を知り交流を図る場）での大府市地婦連活動のPRと「アスパを使った生ごみ減量化」の啓発
- ⑥ 10月26日大府市議会総務委員会との「大府市におけるゼロカーボンシティの推進について」の情報交換会開催
- ⑦ 啓発・PR活動として写真や活動内容等をSNSに投稿
- ⑧ 各地区婦人会でのSDGsの主な取り組み
  - ・自治会、社会福祉協議会、個人団体等と協働でフードドライブに参加
  - ・プチリユースの開催
  - ・講座「大府市の環境分野におけるSDGsの取り組み」開催
  - ・SDGsサイコロ作り
  - ・ヘチマたわし作り
  - ・アスパで野菜を作り一人暮らし高齢者へ配布



「食品ロス削減」啓発のチラシ（オモテ・ウラ）

(今後の課題)

- **取り組みの継続**

これまでの経験から、SDGs やゼロカーボンシティに向けた取り組みは、多くの人や団体に周知し賛同を得た上での協働と継続が重要だと考えている。そこで、大府市地婦連では、設立から 50 年を超える歴史と地盤の厚みを活かしつつ、今後も、アスパ製作をはじめとする活動を継続的に実施していく。

- **構成員の特性を生かした取り組みの実施**

大府市地婦連は、構成員の多くが主婦であることから、SDGs の目標達成や地球温暖化防止につながる省エネの働きかけに力を入れていく。

- **勉強会の充実**

年度初めに行っている勉強会の講師にテーマに関わる専門家を招くなど、学びを充実させていく。

- **構成員の減少と高齢化への対応**

大府市地婦連は、最盛期には市内に 6 つの単位婦人会があり、構成員も 1,000 人を越えた時期があったが、現在では 4 単位婦人会となり構成員も 200 人を切っている。また、近年は仕事をもっている女性が多いため、60 代以下の参加は少なく 70 代以上の女性が中心となっており、構成員の減少とともに高齢化が課題となっている。また、一方では、高齢化によって取り組みが円滑に進まないという問題も一部で出てきている。そこで、大府市地婦連とその活動を積極的に PR する機会を設け、会員数の拡大と若者の参加促進に努めていく。

- **活動の PR、他の団体との連携**

これまではイベントなどの際に対面で大府市地婦連の活動を紹介するのみであったが、SNS を使ってその活動の紹介を行ったところ、若い人たちも含め多くの反応が得られた。そこで、今後は、構成員の拡大や若者の参加促進、構成員のやり甲斐づくりを行うとともに、他の団体との連携を強化し、大府市地婦連の盛り上げとその活動の普及啓発を進めるため、若者にも PR 効果のある SNS などを活用しながら、大府市地婦連とその活動を積極的に PR していく。

(行政、企業、民間団体等に期待すること)

- 大府市では、令和 3 年度から脱炭素、ゼロカーボンを目標に掲げていることから、大府市地婦連においても、行政と連携しながらゼロカーボンテーマに掲げ取り組んでいきたい。
- 大府市地婦連は自治会とのつながりは有しているが、若い人たちや企業とのつながりが弱いことから、より大きな取り組みへと広げていくために、行政にはこうした人たちとの連携の仲介役としての役割を期待したい。

令和3年度  
地域における地球温暖化防止活動促進事業  
(愛知県地球温暖化防止活動推進センター)

地球温暖化防止活動を行う民間団体等の活動実態調査

報 告 書

発行 令和4年2月

問合せ先 一般社団法人 環境創造研究センター  
〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 2-4-1  
TEL : 052-934-7295 FAX : 052-932-7296  
E-mail : cca-info@kankyosoken.or.jp  
URL : <http://www.kankyosoken.or.jp/>